ＪＡはだの

発行
秦野市
農業協同組合
（神奈川県）
〒257-0015
秦野市平沢477
電話0463(81)7711㈹
発行責任者 宮永 均

爽やか青梅　初夏の楽しみ

シャッターチャンス

6月上旬、市内で梅の出荷がピークを迎えた。じばさんずには良質な梅がずらりと並び、来店者から人気を集めた。

生産者の一人、菩提の山口美佐子さんは、25㌃の園で「白加賀」「南高」など4品種を栽培。施肥管理などを徹底し、高品質な梅の生産に励んでいる。

消費者が用途に合わせて実の大きさなどを選べるように、丁寧に選別作業を進めた。

山口さんは「今年は生育が順調で、たくさん収穫することができた。今後も品質の高い梅を作りたい」と笑顔を見せた。

山口さんが丹精して育てた梅

3店舗でレジ袋有料化

プラスチックごみ削減へ

じばさんず、特産センター渋沢店、ＪＡグリーンはだのは、7月1日からレジ袋を有料化します。レジ袋はサイズごとに、じばさんずでは小2円、中3円、大5円、特産センター渋沢店では小2円、中3円、ＪＡグリーンはだのでは小2円、大3円で販売します。じばさんずの小サイズは在庫がなくなり次第取り扱いを終了します。なお、じばさんずと特産センター渋沢店では、マイバッグ持参時の3円引きも終了します。

プラスチックごみ削減のため、ご理解とご協力をお願いします。

全7議案が成立
基本理念の実現めざす

第57回通常総会

ＪＡはだのは5月28日、本所で第57回通常総会を開いた。今年は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、最小限の規模で開催。正組合員には、事前に議決権行使書の提出を呼び掛けた。

最小限の規模で開催した通常総会

約78㌫の正組合員が、議決権行使書を提出。上程した7議案全てを可決した。（2面に関連記事）

会場では、消毒液の設置や座席の間隔を1㍍以上開けるなど、感染症対策を徹底した。

開会のあいさつで山口政雄組合長は「基本理念の実現を目指し、組合員の負託に応える運営に努める」と話した。

議案審議では、2019年度事業報告および剰余金処分案の承認や2020年度事業計画の設定についてなど、全7議案を可決した。

農業・ＪＡを取り巻く環境が厳しさを増す中、農林水産省は農協改革の進捗状況を公表し、農協改革集中推進期間のＪＡ自己改革の進展を評価した。一方で、農業者の所得向上に向けた取り組みの継続や、地域農業を支える農協経営の持続性の確保が課題とされている。また、新型コロナウイルス感染症の影響による経済活動の停滞が、市内の農業にも大きく影響を及ぼしている。

このような情勢の中ＪＡはだのは、農業者の所得増大や農業生産の拡大、地域の活性化を掲げ自己改革に取り組み、協同組合運動の躍進に向けて「第五次中期経営計画」の実践に引き続き取り組んでいく。

開会のあいさつをする山口組合長

総会日現在の組合員数

正組合員　28117人
准組合員　11658人

総会に出席した組合員数

正組合員　2195人
内訳
本人　4人
書面議決　2191人

文中の表彰などの人名紹介の際の敬称は省略させていただきます。

今月の特集
4～5面

地産地消で農家を応援しよう

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う農産物の消費低迷などの影響を受けた農家を応援しようと、市内では地産地消の取り組みが広がっている。

トウモロコシを紹介 7月18日（土）FMヨコハマで

7月18日（土）午前8時から放送する、FMヨコハマ「JA Fresh Market」は、秦野産のトウモロコシを紹介します。

JA Fresh Market

ベジフルDJの中西希さんが、じばさんずにトウモロコシを出荷している西大竹の大庭篤さん・重子さん夫妻の畑を訪ね、ホワイトコーンの収穫を体験します。お薦めの食べ方も紹介しますので、ぜひお聞きください。

新茶　香りと風味豊か

イオンで初 茶の対面販売　おいしさ魅力じかに

ＪＡはだのと管内の4軒の茶農家は5月29～31日の3日間、「イオン秦野店」で初めて新茶を対面販売した。生産者やＪＡ職員が店頭に立ち、秦野産の新茶をＰＲした。

秦野産の新茶を来店者にPR

ＪＡは、秦野産の茶の魅力を消費者に広く発信しようと、対面販売を企画。より効果的にＰＲするため、以前から連携して地場産農産物を販売している同店に協力を依頼した。「少しでも地域に貢献できれば」と同店も快諾した。

売り場には、緑茶やほうじ茶など20種類の商品を用意。来店者の目に留まりやすいように「新茶」と書いたＰＯＰ（店内広告）などを設置した。

29日には「高梨茶園」を営む高梨晃さんが、店頭に立って茶園や商品を来店者に紹介した。生産者ごとに茶のもみ方や焙煎（ばいせん）の仕方などが違うため、生産者や商品によって味が異なることを説明。来店者のニーズに合わせてお薦めの茶を提案した。

高梨さんは「秦野産の茶を消費者に直接ＰＲできてうれしい。今後も対面販売などを通じて地元の茶に親しみをもってもらえたら」と話した。

本所前の花壇 色とりどりに

花苗を植え付ける部員

青年部は5月26日、本所前の花壇に花苗を植え付けた。同部が取り組む「花いっぱい運動」の一環。部員6人が参加し、定植作業に励んだ。

部員はナデシコやマリーゴールド、サルディアなどの色鮮やかな花苗を270ポット用意。花壇に肥料をまいて耕運機で土を耕し、マルチを敷き詰めた。その後、彩りを考えながら花を配置し、1株ずつ丁寧に植え付けた。花壇を見た来訪者からは「色鮮やかでとてもきれい」「いろいろな種類があって見ていて楽しい」と好評だ。

山口哲治委員長は「新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、青年部の活動は自粛しているので、少人数で花苗を植え付けた。ＪＡを訪れた人に、部員が栽培した色鮮やかな花を楽しんでもらいたい」と笑顔を見せた。

青年部が花苗植え付け

大きく育ってね　園児が野菜苗植える

じばさんずは3日、同店敷地内にある「じばのうえん」で野菜苗の定植体験を受け入れた。私立南秦野保育園の園児14人が参加し、野菜の植え付け方を学んだ。

園児は北原慶徳店長から、苗の根元を持ってポットから取り出すことやわってもらう予定だ。

北原店長㊨のサポートで苗を植える園児

ふれた。今後、園児たちが立ち寄った際に成長過程を観察してもらう他、収穫後は同園の給食で味土の掛け方などを教わりながら、じばさんずが出荷者が提供したミニトマトやナスなど4品目の苗30ポットを植え付けた。

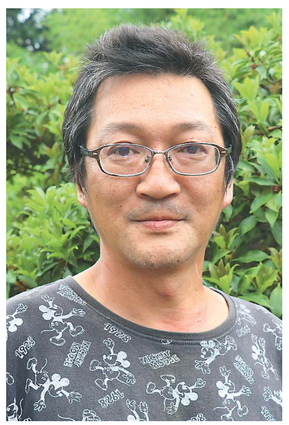
「早く育ってほしい」「実がなるのが楽しみ」と園児の笑顔があ

接近！じばさんず　㊸

〝旬〟をいち早く届けたい

施設野菜や落花生などを栽培している菩提の杉崎誠さんは、農家に生まれ育ち、高校卒業後に家業を継ぐため就農。良質な農産物を多くの消費者に届けようと、日々栽培管理に汗を流している。

約16㌃の温室でトマトとキュウリの他、50㌃の畑で小麦や落花生などを栽培している。



菩提の
杉崎　誠さん（48）

丹精して育てた農産物は、じばさんずや特産センター渋沢店に出荷し、多くの消費者に旬の味を届けている。

野菜苗も生産し、今年はピーマンやナスなど10品目以上を約1万1300㌻出荷した。

野菜苗は種から育てることにこだわる杉崎さん。「温度設定が分からず、芽が出ないこともあり苦労した」と就農当初を振り返る。

さまざまな品目を栽培しているため、種類に合った栽培管理を徹底。毎日畑や温室を見て回り、病害虫が発生していないかなど小まめにチェックして早めの対策を講じている。

また、やさい部会施設部の圃場（ほじょう）巡回で部員と栽培管理について意見を交換したり、落花生の栽培講習会などに参加したりして、さらなる高品質化に向けて励んでいる。

さらに、他の出荷者と出荷時期ができるだけ重ならないように、作付けのタイミングを調整。出荷シーズンより一足早く、消費者に旬の農産物を届けることを心掛けている。

杉崎さんは「丹精して育てた農産物を多くの人に味わってもらえたらうれしい。今後さらに良質な農産物を生産していきたい」と笑顔で話した。

やえのちゃんぴーなマンの「ＪＡってなに？？」

信頼高めるＪｉｂａ－ＧＡＰ

ぴーなマン

前回は「ＧＡＰ」について教えてもらったけど、今回は「Ｊｉｂａ－ＧＡＰ」について教えてほしいな。一体どんなものなの？

やえのちゃん

「Ｊｉｂａ－ＧＡＰ」は、じばさんずが独自で設定したＧＡＰ（農業生産工程管理）のことよ。

食品事故の未然防止や安全・安心な農産物の出荷を生産者に強く意識付けして、消費者の信頼を高めようと設定したの。

農薬の保管・管理や機械の安全な使用、環境への配慮などをチェックしているわ。

導入した出荷者には、出荷帽子に付ける専用バッジを配ったり、バーコードラベルに「Ｊｉｂａ－ＧＡＰ提出済」と印字したりして、取り組みをＰＲしているのよ！

ぴーなマン

より安全・安心な農産物がそろう店舗づくりに取り組んでいるんだね。教えてくれてありがとう、やえのちゃん！

No.442

発見 頑張り屋さん

魚食文化を伝えたい

名古木の―中村（なかむら） 美幸（よしゆき）さん

名古木で「中村水産」を営む中村美幸さん。平塚市出身で、高校卒業後に叔父が経営する鶴巻の魚屋に就職した。自身の店を持ちたいと思っていた中村さんは、1990年に「中村水産」をオープンさせ、現在は夫婦二人三脚で切り盛りしている。

――販売しているものは？

アジやキンメダイなどの新鮮な魚はもちろん、自家製の締めサバの他、サンマのみりん干しやサワラの西京漬けなど100種類以上の商品を販売しています。市内の飲食店や保育園にも魚を提供しています。

――こだわりは？

季節ごとの新鮮な魚を販売することです。毎朝小田原漁港に行き、脂の乗った魚を自分の目で見て選んで仕入れているため、自信を持って店頭に並べています。

――客層は？

市内外から多くの人が来店してくれますが、地元の方が中心です。その中には週に4回ほど来てくれるお客さまもいて、リピーター（再来訪者）が多いです。お盆や年末年始、地元のお祭りなどでは、お造りなどの注文を多くいただいています。

――息抜きは？

映画を鑑賞する他、妻と一緒に桜や紅葉などの季節の風景を求めてドライブを楽しんでいます。

――今後は？

洋食が中心となり魚の消費が減っていますが、日本の魚食文化を次世代の子どもたちにも伝えていきたいです。これからも地域の方との交流を大切に、皆さんから愛される店づくりを心掛けていきます。

コロナ禍今こそ 地場産の良さ知って

市が花農家応援

バラ、カーネ花束を購入

市職員㊨に花束を届ける部会員

5月29日と6月5日の両日、市長や副市長、市職員らが、花き部会から地場産のカーネーションやバラの花束を557束購入した。苦境に立たされている花卉（かき）農家のために、市が発案した取り組みだ。

秦野市は、県内でも有数の花の産地。カーネーション栽培は85年以上の歴史があり、伝統の作物として受け継がれている。バラも60年以上前から栽培が続き、良質な秦野産は市場で高い評価を得ている。

同部会は毎年、市が開く「新成人のつどい」で会場のロビーやステージを花で装飾してイベントを華やかに彩ったり、市役所のロビーにバラで装飾した花台を展示したりと、市と連携した活動を進めてきた。

例年5、6月は「母の日」「父の日」などでカーネーションやバラの需要が高まる時期だが、花の需要はいまだに低迷。そこで市が、6月の定年退職や人事異動の贈り物などで地場産の花を購入することを提案した。JAが注文を受け、部会員に花束の納入を依頼した。

当日は、部会員が市役所に次々と花束を搬入。赤やピンク、オレンジなど、色とりどりのカーネーションやバラの花束を届けた。

和田稔部会長は「コロナ禍で花の消費が低迷している中、このような取り組みはとてもありがたい。丹精して育てた花を楽しんでもらえれば」と笑顔で話した。

じばさんずは20、21の両日、「父の日」を「乳（ちち）の日」とかけて、神奈川県産の牛乳を来店者に配布した。県内の畜産物をPRすることで消費拡大につなげ、酪農家を支援する取り組みだ。

Jミルクが定めた6月の「牛乳月間」に合わせたもの。2000円以上買い物した来店者を対象に、県西部地区の生乳を使った「柳川牛乳」1000パック（1パック200ミリリットル入り）と牛乳の栄養成分などを記載したちらしを配った。

来店者は「県内産の牛乳があることを初めて知った。とてもおいしかったのでまた飲みたい」と話した。

神奈川県産の牛乳を配布

牛乳で畜産もPR

〝乳の日〟に県産配布

援農ボランティア活躍

カーネの片付け次々と

カーネーションの片付けに励むボランティア㊨

援農ボランティアが6月中旬の4日間、羽根で花卉（かき）を栽培する今井勲さんの温室を訪れ、出荷を終えたカーネーションなどの片付けに汗を流した。今年は、はだの都市農業支援センターと全国農協観光協会が取り組む「カーネーション片付け隊」が中止になったが、個別に手伝いを名乗り出たボランティアが作業に励んだ。

援農ボランティアは、7人が作業。持ち帰り用の花を摘み取った後、株を引き抜いて運び出し、支柱なども片付けた。今井さんは「ボランティアのおかげで次の作業に余裕をもって移ることができるので、とても助かる」と話した。

収穫体験用 ジャガ販売

イベント協力 農家を支援

はだの都市農業支援センターは17、18の両日、「はだの農業満喫CLUB」の会員に秦野産の農産物を届けようと、収穫体験用に農家が栽培したジャガイモを販売した。収穫体験が中止になったため、毎年イベントに協力している農家の支援も兼ねて企画。会員19人に、堀山下の高橋正宏さんが栽培したジャガイモ「キタアカリ」38袋（1袋約5キロ入り）を販売した。

ジャガイモを購入する会員㊨

高橋さんは「収穫体験が中止になって、ジャガイモの行き場に困っていたので助かった」と話した。

じばさんず 中心に運動

地産地消

新型コロナウイルス感染症拡大に伴うイベント自粛や飲食店の営業縮小、学校給食の停止などによる農産物の消費低迷が長期間にわたって続いたことで、農業者は大きな影響を受けた。現在、停滞している地域の経済を活性化させるため、全国的に地産地消の重要性が見直されている。市内でも花の購入運動や加工品・畜産物のPRなど、市内の農家を応援する取り組みが広がっている。

地産地消運動のポスター

地産地消運動は、地元で取れた食材を地元で消費する取り組み。消費者が新鮮で安全・安心な地場産の農産物を消費することで、地域の農業を応援することにつながる。

JAはだのは、じばさんずを生産者と消費者をつなぐ地産地消の拠点と位置付けている。2002年に県内のJA農産物直売所の先駆けとしてオープンし、当初から地域に根差した店舗づくりを進め、地場産農産物の消費拡大に力を注いでいる。独自の農業生産工程管理（GAP）の「Jiba―GAP」なども設定し、安全・安心な農産物を消費者に提供している。（8面に関連記事）

2016年からは「みんなで地産地消運動」も進めている。「一日一品以上秦野産の農畜産物を食べよう」「秦野産の花を家庭に飾ろう」をスローガンに、市内の農家を応援する運動だ。オリジナルキャラクターの運動ポスターを各店舗に掲示し、組合員に取り組みを広く呼び掛けている。

本来の味 そのまま

濃厚トマトジュース人気

やさい部会施設部の部員が栽培したトマト100％のジュースが、じばさんずで来店者から人気を集めている。6月中旬から今年産の販売がスタートした。

トマトジュースを手にする生産者

秦野産の安全・安心なトマトを使用したジュースは濃厚な100％ストレートで、塩や添加物を使用せず、トマト本来のうま味が味わえる一品。そのまま飲むことはもちろん、トマト煮込みやパスタなどの料理にも使いやすいため、幅広い世代から注目されている。

サイズは2種類を用意し、180ミリリットル入りは300円（税込み）、500ミリリットル入りは700円（税込み）で販売している。

購入者からは「秦野産だけで作っているから、子どもにも安心して飲ませられる」と好評だ。部員は「一人で加工品を作るのはなかなか難しいが、部員やJAと連携することで今年もおいしいジュースが作れた。多くの人に味わってほしい」と笑顔を見せた。

伝統ソラマメ出荷 粒ぞろい良く上々

渋沢の峠地区

ソラマメの出荷作業に励む石原組合長

渋沢の峠地区の農家で構成する「峠天豆（そらまめ）出荷組合」は、5月20日～6月7日、ソラマメ約5・8トンを出荷した。今年は気象条件が良く順調に生育し、作柄は良好。粒ぞろいも良く、品質は上々だ。

同地区では1955年ごろ、特産だった葉タバコの収穫が始まる前に短期間で得られる収入源として、栽培が広がった。組合員の高齢化などから、最盛期に1・5ヘクタールあった面積は約3分の1に減少したが、現在も8戸の農家が伝統を守り続けている。

石原榮一組合長は「とても品質の良いソラマメに仕上がった。収穫・出荷の作業は短期間かつ重労働になるため生産は大変だが、地域の伝統的な作物を守っていきたい」と意気込んだ。

ブルーベリー本番

摘み取り園も準備着々

6月中旬、市内でブルーベリーの収穫が始まった。ブルーベリー研究会の会員は、収穫や出荷の作業に励んでいる。今年は天候に恵まれ、大粒で甘さが乗ったブルーベリーに仕上がった。

ブルーベリーの手入れをする安味会長

安味孝明会長は、約20アールの畑でハイブッシュ系とラビットアイ系のブルーベリー合計250本を栽培。出荷作業の他、7月中旬の摘み取り園の開園に向けた準備を進めている。

安味会長は「秦野のブルーベリーのおいしさを幅広い世代に味わってもらえたら」と笑顔で話した。

管理しっかり色づき良く 遊休農地活用の桃収穫

6月上旬、上地区で遊休農地を活用して栽培する極早生の桃「ひめこなつ」と「ちよひめ」の出荷がピークを迎えた。

桃の生育状況を確認する諸星さん

生産者の一人、菖蒲の諸星安芳さんは、10アールの園地で約25本を栽培している。JA営農課の園芸技術顧問の指導や、自身で約10年かけて築き上げてきたノウハウを生かし、摘蕾（てきらい）や摘果を徹底。さらに木の内部まで光が当たるようにしっかりと剪定（せんてい）し、色づきの良い桃に仕上げた。

諸星さんは「今後も栽培を続け、上地区で桃を生産していることをより多くの人に知ってもらいたい」と笑顔を見せた。

小麦収穫 品質高く仕上がる

収穫作業が進む小麦

「秦野小麦出荷組合」のメンバーらは6月上旬から中旬にかけて、小麦を収穫した。

同組合の組合長を務める農業生産法人㈱大地の小泉貴寛さんは、約5ヘクタールの畑でパン用品種の「ゆめかおり」を栽培し、約18トンを出荷。今年は天候が安定していたことから、実入りの良い小麦に仕上がった。

小泉組合長は「今年も高品質な小麦が収穫できた。今後も組合全体で品質向上に努めていきたい」と意気込みを語った。

気軽においしいみそ造りを

加工室の設備一新

JAはだのは、本所農業団地センターの農産加工室に設置している発酵機と大釜2台を入れ替えた。新しい発酵機は、温度表示がデジタルになり、使いやすくなった。

2日から4日までの3日間、生活福祉課の職員がみそを試作し、利用者向けの使用マニュアルを作成した。職員は、米こうじを作る際の設定などを細かく調節。大豆をゆでるのに適した火加減なども確認した。

加工室は、組合員を対象に貸し出している。利用料は、1工程（3日間）1500円。お申し込みは生活福祉課まで。☎72―7661

新しくなった大釜

資産部会総会 2議案を可決

資産運用部会は5日、本所で第48回通常総会を開いた。感染症の拡大防止に配慮し、会員には議決権行使書の提出を呼び掛けた。

議決権行使書と本人出席合わせて278人が、上程された2019年度活動報告と2020年度活動計画の2議案を可決した。

あいさつする高橋照雄部会長

書面での事前質問に回答

第57回通常総会の開催に当たり、七つの議案について組合員の質問や意見を書面で受け付けた。寄せられた質問と、ＪＡはだのの回答（要旨）を紹介する。

本町支所貸金庫の取り扱い状況は

南地区　北村（きたむら）　和彦（かずひこ）氏

質問　総会資料19㌻の利用事業の取り組みおよび64㌻の利用事業の明細について質問します。

両項目では、本町支所に設置された貸金庫について、取り扱い高などが何も表示されていません。取り扱い状況はどのようになっているのでしょうか。

今後は組合員に再度周知を行うなど、利用者を増加させるための取り組みは考えているのでしょうか。

回答　貸金庫は、2018年4月1日に利用事業から信用事業に取り扱いを変更しており、当該利用料の収入額につきましては、42㌻の損益計算書、信用事業収益の役務取引等収益の中に含んで表示しています。

具体的には、19年度における本町支所の貸金庫利用料収入額は95万2741円でした。

また、20年2月末日現在の利用状況は、123升中57升が利用されており、利用率は46・3％となっています。（6月20日現在では123升中62升が利用。利用率50・4％）

ご心配いただいている通り、決して高い利用率ではありませんので、引き続き店頭での声掛けをはじめ、機関紙「ＪＡはだの」・ホームページ・座談会などでのＰＲを強化し、利用率の向上に努めてまいります。

鶴巻支店・本町支所の貸金庫の利用を

貸金庫は、貯金証書・権利証・貴金属などの大切な財産を、盗難や紛失・火災などのトラブルからお守りします。

◇鶴巻支店貸金庫

◎利用時間　午前8時30分～午後4時（平日のみ）

◎年間利用料　1万3200円（税込み）

お問い合わせは鶴巻支店まで。☎77―0840

◇本町支所貸金庫

◎利用時間　午前8時30分～午後9時（平日・休日とも）

◎年間利用料　1万9800円（税込み・組合員価格）、2万3760円（税込み・員外価格）

お問い合わせは本町支所まで。☎81―0019

感染症の拡大防止に配慮した会場

セキュリティー万全の貸金庫室（本町支所）

2019年度の事業報告にあたって

このたび新型コロナウイルス感染症に罹患（りかん）された皆さまと、感染拡大により生活に影響を受けられている皆さまには、心からお見舞いを申し上げます。神奈川県では5月25日、新型コロナウイルス感染症に関する政府の緊急事態宣言が解除されました。緊急事態宣言の発令中は、ＪＡはだのでは各事業の維持・継続に必要な対策として、一部店舗の営業時間の短縮を行いました。ご協力いただきました組合員の皆さまに感謝申し上げます。

第57回通常総会につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、規模を縮小しての開催となりました。皆さまの健康と安全を考慮いたしました結果ですので、ご理解をお願いいたします。

さて、2019年度の日本経済は、働き方改革や人手不足に伴う省力化投資などにより内需は比較的堅調に推移したものの、年後半からは10月に実施された消費税増税の影響や、海外情勢を巡る輸出およびインバウンド消費の低迷などにより国内景気は停滞感が強まりました。1月に発効された日米貿易協定の他、新型コロナウイルス感染症の拡大による経済への影響には引き続き留意が必要です。

組合員のさらなる結集を

秦野市農業協同組合
代表理事組合長　山口　政雄

農業を取り巻く環境では、地域の活性化に向けた協同組合運動の躍進に向けて「第五次中期経営計画」（19～21年度）初年度の実践に取り組みました。

組織運営では、アクティブメンバーシップの確立に向け、支所運営委員会を中心に地域に根差した協同活動を充実させ、組合員の参加と結集を促しました。

営農指導事業では、ＴＡＣ（地域農業の担い手に出向くＪＡ担当者）を中心とした営農支援体制の充実や、地域の特性に合った栽培品目の生産振興に取り組みました。また、農林水産省は農業生産の拡大、地域の活性化に向けた自己改革に取り組み、光農業のさらなる充実に取り組むとともに、継続的な鳥獣被害対策や自然災害への対応など、支援機能の発揮に努めました。

販売事業では、販売事業専任担当者の配置により「はだのじばさんず」を拠点とした買い取り販売を拡大し、生産者の所得増大につなげました。

経済事業では、パルシステム生協との事業連携を開始するとともに、購買品の仕入れ機能の強化や、営農指導と連携した提案活動により、農業者の生産コスト低減に努めました。

金融共済事業では、便利で安心な地域金融機関として、組合員・利用者から信頼される店舗づくりに努めました。

経営管理では「第五次中期経営計画」の進捗管理や内部管理態勢の強化による経営の安定性確保と信頼性維持に努めました。

19年度事業実績は、各事業とも厳しい環境の中、組合員の皆さま、そして地域の利用者のご理解とご協力により、おおむね計画に沿った成果を残すことができました。改めて感謝申し上げます。

今後も、基本理念である「夢のある農業と次世代へつなぐ豊かな社会を地域できずく」の実現を目指し、組合員の負託に応える運営に努めてまいります。組合員の皆さまには「ＪＡはだの」への一層の結集とご協力をお願いいたします。

第57回通常総会提出議案

第１号議案　2019年度事業報告および剰余金処分案の承認について

（報告事項）貸借対照表、損益計算書、注記表、附属明細書ならびに会計監査人および監事の監査報告書について

第２号議案　2020年度事業計画の設定について

第３号議案　役員報酬について

第４号議案　2020年度指導事業の費用に充てるための経費（賦課金）について

第５号議案　定款および定款附属書総代選挙規程の一部変更について

第６号議案　規約の一部変更について

第７号議案　信用事業規程の一部変更について

文芸の窓

〈俳句〉（酒井　敏光　選）

江ノ電や古都に五山の寺青葉　高橋　順子（大秦町）
羽化の蝉自由な時間取り戻す　柳川みち子（栄　町）
新コロナ世に悪名の知られ夏　佐藤英美子（南矢名）
ブラームス聞いて忘るる夏の憂さ　森高　由子（渋　沢）
涌く水に浸す絵筆や新樹光　高島美和子（名古木）
風の野や日傘の透けもモネの丘　吉田　清美（渋　沢）
初蝉や東男の子の手の中に　菊池としえ（菩　提）
丹沢の村の夏めき遠嶺雪　志賀　明子（千　村）
宣言の解けた夜を舞う蛍かな　芦川　松江（八　沢）
初蝉や脳に沁み込む俱帰宅　石原　松枝（渋　沢）
設えのコロナの出口緑陰に　柴崎　和子（渋　沢）
母姉の忌や経の下読み初の蝉　選者

〈短歌〉（久保寺　富男　選）

久々に里訪なえば香りくる
夫の好みし蕗煮て待つ義姉　石田こずゑ（水神町）

評　歌意は明瞭、夫が好物だった蕗の煮ものを作って、待っている義姉の心の温かさを感じている作者である。夫の好みしと過去形になっているので、夫は故人なのであろう。

手を振りて医療従事者ら応えたり
謝意の雲曳くブルーインパルスに　細田　富士（千　村）
ガードレール十回たたきて群れ泳ぐ
鯉に放りぬ出汁取りし煮干　八木　実（鶴巻北）
休耕畑に5百本余のサツマ苗
植えて安らぐ菩提の人らと　伊東　久（渋　沢）
新聞もテレビもコロナの報道ばかり
畑見回りキュウリもぐわれは　今井　かめ（羽　根）
誰も彼もマスクに顔隠し声くぐもる
この世の不実の証のごとく　選者

※選者による添削あり

今月の理事会

6月22日に理事会を開催し、次のことを審議しました。

▽経営情報の開示内容（ディスクロージャー）について

▽「自己資本比率算出要領」の一部改正について

▽組織問題審議会への諮問について

▽2020年度理事報酬の配分について

▽第57回秦野市農協創立記念式について

▽2020年度夏期および年末手当の支給について

▽2020年度賦課金の徴収について

▽2020年度信用供与等限度額の変更について

▽延滞債権等の処理方針について

税務相談日	7月10日（金）午前9時30分～
法務相談日	7月20日（月）午後1時30分～
場所	本町支所

予約制ですので、事前にお電話にてご予約をお願いします。受け付け順に相談時間が決まります。
受け付け・ご予約は㈱協同コンサルトはだの ☎81―2329

7、8月は健康福祉充実月間

健康診断は年1回受診を

ＪＡはだのは、毎年7、8月を「健康福祉充実月間」と定めています。今年度は健康福祉大会などのイベントが中止となりましたが、人間ドックや生活習慣病健診など、各種健康診断の申し込みを受け付けています。

ＪＡ神奈川県厚生連保健福祉センターの健診事業は、4、5月は中止となっていましたが、6月1日から感染症防止対策を徹底した上で再開しました。同センターでは利用者に、左記の五つの対策への理解・協力をお願いしています。

①来所時のマスク着用と検温の実施
②過去14日間の健康状態の問診の徹底
③呼吸機能検査の中止
④人間ドック当日の結果説明・施設内での食事提供の中止
⑤室内・機器の都度消毒の実施および時差受け付けによる検査人数の調整

2カ月間の休止の影響で予約が取りにくい状況になっていますが、1日の検査人数を増やすなどの対応をしています。年1回は健康診断を受診しましょう。

お申し込み・お問い合わせは生活福祉課まで。☎72―7661

ぴーなマンとやえのちゃん

ゆるキャラグランプリに出場

7月1日投票スタート

ＪＡはだのオリジナルキャラクター「ぴーなマン」と「やえのちゃん」が、ゆるキャラグランプリ2020に出場します。同グランプリは今年が最後の開催です。

投票期間は7月1日（水）午前10時から9月25日（金）午後6時まで。1人1日1票まで投票できますので、ぜひ応援をお願いします。右のQRコードを読み取ると簡単に投票できます。

秦野の農家ご飯

フライドナス

南支部　栗原（くりはら）　奈津子（なつこ）さん

■材料（4人分）■
ナス4本、米粉80㌘、塩・こしょう少々、油適量

＜作り方＞
①ナスの皮をピーラーでむく。
②棒状に切り、水につけてあくを抜く。
③ナスを取り出し、水が付いたままのナス全体に米粉をまぶす。
④塩・こしょうをまぶし、油で揚げる。

＜ひとことアドバイス＞
お好みでレモンをくし形に切って添えたり、カレー粉やマスタード、ケチャップなどを付けたりしてもおいしいです。

長寿者に記念品贈呈

いきいきライフ支援事業

おめでとうございます。末永くお元気でお過ごしください。

99歳（白寿）
▽東地区＝鈴木惠治（寺山）

88歳（米寿）
▽大根地区＝沼田秀子（鶴巻）
▽南地区＝三杉光夫（今泉）多田勝久（西大竹）

77歳（喜寿）
▽大根地区＝解良生子（北矢名）北村正枝（鶴巻）久保寺ミドリ（鶴巻南）
▽本町地区＝関野米子（曽屋）
▽東地区＝石垣きょう子（東田原）
▽南地区＝大野昂夫（南が丘）
▽西地区＝小野平造（千村）内田八重子（千村）
▽上地区＝澤岻盛勇（松田町）

※自己申告ですので、該当の方は誕生月の前月末までに各支所・支店にご連絡ください。

農業のユメ育みます
JA農機ハウスローン
応援1 軽トラックの購入にも！
応援2 大型農業機械の購入にも！
応援3 農業用の井戸・水道の設置にも！
応援4 ハウスの建設費用にも！
応援5 小型農業機械の購入にも！
応援6 作業所・倉庫の設置にも！
JAグループ神奈川応援プログラム
利子補給事業　補給率 最長10年 最大 1.0%
JAが取り扱う全ての農業資金（公庫資金を除く）について、最大1.0%（最長10年）の利子補給を行っています。
※貸付条件に合致したすべての方が対象となります。
※商品にはそれぞれ下限利率があり、貸付条件等によって補給率が異なります。
※延滞等が生じた場合、延滞した元金は利子補給対象外になります。
※「JA農機ハウスローン」については、全期間利子補給の対象となります。
保証料助成事業　実質保証料 0円
JAが取り扱う全ての農業資金において、県農業信用基金協会の保証が付された場合の一括前払い保証料を全額助成するもの。一度お支払いいただいた後、全額助成いたします。
※一括前払い以外の方法により支払われた保証料については、助成の対象となりません。
詳しくは各支所・支店または融資課まで 0120-954-093

ローン・年金相談会
●住宅の新築・お借り換えやお車のご購入、お子さまの教育資金など、各種ローンのご相談を無料で承っております。お気軽にご相談ください。
●これから年金を受け取る方の複雑な受給手続きのお手伝いをさせていただきます。
ご来編の方に記念品を進呈
ローン 7月11日（土） 本所農業団地センター
年金 7月19日（日） 本町支所
※時間は午前9時～午後4時まで。どなたでもご相談いただけますので、お気軽にご来場ください。
※感染症などの状況により、中止になる可能性がありますので、あらかじめご了承ください。
それぞれ事前予約をお願いいたします。
◆各種ローンを相談される方は融資課に
◆年金受給手続きを相談される方は信用課に
■融資課 ☎81-7713 当日は0120-954-093
■信用課 ☎81-7716 当日は0120-954-092

地域振興作物を出荷

鳥獣害少なく山間部で栽培／JAが後押し

JAはだのが第三次地域農業振興計画で地域振興作物に位置付けている、ニンニクとラッキョウが出荷シーズンを迎えた。どちらも鹿やイノシシなどによる鳥獣被害を受けにくい作物で、山間部を中心に栽培されている品目。JAは積極的に生産を後押ししている。

ニンニクの出荷の準備に励む藤田さん

ニンニク　味良く消費者に人気　地域一体で特産化進める

上地区ニンニク研究会の会員が6月上旬、ニンニクの出荷を始めた。じばさんずに並ぶ良質なニンニクは、来店者から人気を集めている。

同会は、栽培に関する情報を共有するなど、会員同士が連携して高品質なニンニクを出荷している。JAは、同店の売り場に「上地区にんにく」と書いた店内広告（POP）を設置。昨年からは、オリジナルキャラクター「にんまるくん」のラベルシールも製作し、ブランド化を後押ししている。

会員の一人、三廻部の藤田譲さんは、3・6ヘクタールの畑で暖地系品種「平戸」を栽培。堆肥や有機肥料をふんだんに使い、消費者に安全・安心なニンニクを提供している。種子を植える深さなどの試行錯誤を繰り返しながら、栽培のノウハウを築き上げ、品質の高いニンニクを生産。今年は約120キロを収穫し、乾燥や出荷の作業に励んでいる。

藤田さんは「おいしいニンニクを作りたいという思いから、味の良さにこだわって栽培した。上地区のニンニクを多くの人に味わってもらいたい」と笑顔を見せた。

ラッキョウ　食品会社の依頼で栽培　TACが指導しサポート

ラッキョウの品質を確認する山口さん

19、23の両日、JAからラッキョウの栽培委託を受けた農家3人が、本所にラッキョウを持ち込んだ。JAは合計600キロを、JA全農かながわベジフルセンターを通じ、漬物を生産する丸イ食品㈱に出荷した。加工後は、神奈川県産のラッキョウ漬けとして県内の農産物直売所などで販売される。

ラッキョウの栽培は、同社からの依頼で2018年にスタート。TAC（地域農業の担い手に出向くJA担当者）が栽培を指導し、生産をサポートしている。野生動物による食害を受けにくく、他の品目よりも栽培に手間が掛からないことが特徴。今年は温暖な気候が続いたため生育が順調に進み、品質は上々だ。

生産者の一人、堀山下の山口哲治さんは「ラッキョウは鳥獣の被害が少なく栽培しやすい品目。TACのサポートもあったので、とても品質良く仕上がった」と話した。

受賞おめでとう！　日頃の成果を発揮

花き部会露地部は15日、市内圃場（ほじょう）を巡回して立毛共進会を開いた。

審査の結果は次の通り。

▽優秀賞＝亀崎善太郎（小蓑毛）柳川賢治（平沢）加藤宗雅（平沢）

▽優良賞＝青木剛一（平沢）山口雅司（横野）柳沢）今井洋司（横野）柳川進（平沢）栗原昭雄（平沢）

▽佳良賞＝山口富治（横野）小島康浩（上大槻）青木清吉（平沢）

剪定箇所を確認する部員

良質なキウイ生産を　講習会で夏の栽培管理学ぶ

果樹部会キウイフルーツ部は10日、戸川の園地で夏管理講習会を開いた。キウイフルーツのさらなる品質向上につなげることが目的。部員の他、県農業技術センターとJA営農課の職員合わせて17人が参加した。

同センター職員が、枝の長さに合わせて着果数を調整することや、余分な枝を剪定（せんてい）して光が均等に当たるようにすることなどの管理方法を解説。今年はかいよう病が発生している園があることから、効果的な防除方法を説明するとともに、発病部位の切除などの管理徹底を呼び掛けた。

恩蔵和男部長は「病害虫の効果的な防除方法を学ぶことができたので、今後の管理に生かし、良質なキウイフルーツを生産したい」と話した。

JAグリーンは農家を応援します

特別価格で販売する除草剤

除草剤キャンペーン実施

JAグリーンはだのは7月4日（土）～12日（日）、除草剤などの割引キャンペーンを実施します。

期間中は特別価格で販売しますので、お得なこの機会にぜひご利用ください。

お問い合わせはJAグリーンはだのまで。☎81－7719

果樹　キウイフルーツの夏季管理について

▼摘果

摘果とは、果実を大きくするために行う、果実の間引きのことです。

果実は初期肥大が旺盛なので、花の満開後30～40日で収穫時の8割ほどの大きさになります。そのため、摘果は満開後30日までに行います。優先して摘果するのは、病害虫の被害果、傷果、扁平（へんぺい）果、小玉果などです。大玉で俵型の果実を残します。

残す果実数の目安は、枝の長さによって決めます。60センチ以上の長い枝では4～5個、30～60センチの枝で2～3個の果実を残します。それより短い枝では1個を残すか、全て摘果します。最終的な着果数の目安は、1平方メートル当たり20～25個です。

▼新梢（しんしょう）管理

枝葉が多過ぎると、棚下に光が当たらず風通しが悪い状態となり、果実の品質が低下するだけでなく、病害虫の発生を助長します。そのため、棚下に木漏れ日が入る程度まで新梢を剪除（せんじょ）します。

徒長枝（勢い良く伸びた枝）や枝が込み合っている部分を中心に、枝を基部から間引いて整理します。ただし、枝の数を減らし過ぎると、木の勢いが弱くなったり、果実が日焼けしたりすることがあるため、注意しましょう。

また、新梢の整理とともに、新梢先端の巻きづるを巻き始めの部分で切り戻します。これにより、新梢の伸長を抑えて枝の充実を図るとともに、冬季剪定の際に枝の取り外しが容易になります。

▼病害虫防除

7月上中旬は果実軟腐病、キウイヒメヨコバイ、カイガラムシ類の防除適期です。果実軟腐病に対してはダコニール1000またはナリアWDGを、キウイヒメヨコバイおよびカイガラムシ類に対してはモスピラン顆粒（かりゅう）水溶剤を散布します。また、クワシロカイガラムシが多発している園では、スプラサイド水和剤を散布してください。病害虫の発生を抑えるためには、農薬の散布以外にも、前述の通り新梢管理を行い、風通しを良くすることも重要です。

農薬の使用に当たっては、ラベルの登録内容をよく確認し、必ず適用条件を守って使用してください。（笹屋）

営農技術　ヒント・ポイント

かながわ鳥獣被害対策支援センター　0463-22-9521（内山）

農業技術センター　普及指導部　0463-58-0333

- 果樹花き課　果樹　（笹屋）
- 花き　（藤平）
- 作物加工課　作物　（木村）
- 加工　（中山）
- 野　菜　課　（吉岡）

告知板

ATM稼働時間の変更

システムメンテナンスのため、7月12日（日）はJAはだの内のATMの稼働時間を午前9時から午後9時までに変更します。ご迷惑をお掛けしますが、ご理解・ご協力をお願いします。

お問い合わせは各支所・支店、または信用課まで。☎81－7716

麦類農産物検査日程について

◎日時　7月9日（木）午前10時から

◎搬入場所　本所JAグリーンはだの前

◎搬入方法　小麦出荷組合員以外の方は持ち帰り検査のみのため、検査当日に個人で搬入してください。庭先集荷は実施しません。

◎品種・銘柄　神奈川県産地品種銘柄（さとのそら、ゆめかおり、あやひかり、ニシノカオリ、ユメシホウ、農林61号）

お問い合わせは営農課まで。☎81－7718

農産加工品相談会を開催

農産加工品に関する相談会です。どなたでもお気軽にご参加ください。

◎日時　7月15日（水）午前10時～午後4時

◎場所　本所農業団地センター2階　調理実習室

◎内容　午前は、県農業技術センターの職員による衛生管理の注意点についての講義。午後は、個別の相談をお受けします。

お問い合わせは生活福祉課まで。☎72－7661

生産緑地地区の取得あっせんについて

秦野市から生産緑地法第13条に基づき、右の表の土地について生産緑地のあっせん依頼がありました。

農業に従事される方で、生産緑地として取得を希望される方は、農業委員会事務局農地利用担当へご連絡を。☎82－9654

場所	地目	面積（平方㍍）
今泉301番1	畑	2092
今泉302番1	畑	2094
立野台2丁目4番5	畑	154
立野台2丁目4番6	畑	892
立野台2丁目4番7	畑	315
平沢1664番2	畑	287
平沢1665番1	畑	211
堀西2274番1の一部	田	535
堀西373番1	畑	605

いきいき女性部活動

東支部　井の城生活班　班長　石垣（いしがき）きょう子（こ）さん

私は、女性部員歴が長いベテランばかりの班に所属しています。現在、各種活動への参加は難しいですが、『家の光』を配りながら班員の皆さんの元気な顔を見て、私も元気をもらっています。

元気に過ごしてこられたのも、長い女性部活動で得た知識があったからこそだと確信しています。ボルケットボール大会、女性部運動会では楽しく体を動かしています。おとしは、JAはが野女性会との交流会に参加しました。大勢の方々と元気な笑顔で接し、楽しい1日でした。

今後も、食や運動など健康につながるさまざまな行事に年間を通して参加し、人と人との輪を大事にしながら活動していきます。

県産飲料愛飲運動を実施中

安全・安心な県産飲料の愛飲運動を実施しています。この機会にぜひお求めください。

◎対象商品

▽足柄茶リシール缶（緑茶）2500グラム×24缶　2300円

▽足柄茶リシール缶（緑茶）490グラム×24缶　2500円

▽足柄茶リシール缶（ほうじ茶）465グラム×24缶　2500円

▽箱根山麓紅茶490グラム×24缶　2500円

▽JAみかん畑（ストレート果汁100％）195グラム×30缶　2980円

▽梅の風290ミリリットル×24缶　2300円

お問い合わせは経済課まで。☎81－7717

農業者年金に加入を

農業者年金は、農業の担い手のための公的年金制度です。原則65歳から、一生涯にわたって受け取れる終身年金です。支払った年金の全額が社会保険料控除の対象となります。次の要件を満たす方なら、どなたでも加入できます。

◎60歳未満の方

◎年間60日以上農業に従事している方

◎国民年金第1号被保険者（国民年金保険料納付免除者を除く）

農業機械展示予約会が中止

8月7、8日にJA全農かながわ（平塚市田村）で開催予定だった「農業機械展示予約会」は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、中止となりました。

お問い合わせは農機センターまで。☎81－8394

『家の光』3誌普及運動実施中

料理のレシピや、生活に役立つ知恵・裏技など情報満載の家庭雑誌『家の光』、農政・営農などの情報誌『地上』、自然や食と農の大切さを伝える子ども向けの学習雑誌『ちゃぐりん』の普及運動を実施しています。期間中に年間購読を申し込むと、1冊分の購読料が割引になります。

◎購読期間　2020年9月号から21年8月号までの1年間

◎運動期間　8月7日（金）まで

◎年間購読料

▽『家の光』8782円

▽『地上』6922円

▽『ちゃぐりん』566円

お申し込み・お問い合わせは各支所・支店または組織教育課まで。☎81－7714

児童のために米作り

東田原の大津次男さん・大津俊彦さん

苗を植える世話人の大津次男さん

『この人』

東田原の大津次男さんと大津俊彦さんは、東小学校と東地区社会福祉協議会が一体となって、取り組む「あずまの里・稲づくり体験教室」に協力している。

例年、米作りの一連の作業に同校5年生が参加しているが、今年は新型コロナウイルス感染症の影響で、田植えへの参加中止が決定。しかし、大津さんらは食農教育の場を提供し続けようと、活動を開始した。

大津さんらは「この状況が収まり、児童たちと稲刈りなどができる日を楽しみにしている」と話した。

じばさんずNEWS

【7月のイベント】

☆「旬の果物・野菜フェア」

4日（土）、5日（日）、18日（土）、19日（日）、25日（土）、26日（日）

秦野産の旬の果物や野菜にスポットを当てて販売します。

☆「お盆フェア」11日（土）、12日（日）

秦野産の小菊、お盆用品などを多数ご用意します。水菓子や和菓子なども販売します。

☆「産地商品の特売」14日（火）、21日（火）、28日（火）

産地間提携を結ぶJAの野菜や加工品などを特別価格で販売します。

☆「国産豚の加工品」17日（金）

㈱フリーデンが国産豚を使用したお得な商品を販売します。

☆「たまごの日」毎週月、金曜日

店頭価格から10％引き。「みくるべたまご」は除く。

☆「お米の日」毎週水曜日

店頭価格から10％引き。

☆「肉の日」毎週木曜日と29日

店頭価格から5％引き。

◎7、8月は休まず営業します。

新型コロナウイルス感染症などの影響により、試食イベントは休止しています。他のイベントも変更になることがありますので、ご了承ください。

鶴巻の伊藤勇介（いとうゆうすけ）さん

生産品目　小松菜やホウレンソウなど年間約10品目

消費者に安全・安心な野菜を届けることにこだわり、農薬を使わずに栽培することを心掛けています。

小松菜は、年間を通して生産し、じばさんずにほぼ毎日出荷しています。新鮮な野菜をぜひ手に取ってみてください。

JA住宅ローン

マイホームプランを応援します

お使いみち　住宅の新築・購入（中古住宅も含む）、マンションの購入、土地の購入（2年以内に新築し、居住する予定があること）、住宅の増改築・改装・補修資金など住宅取得費用に関するもの。

環境配慮型設備等　新規導入で7万円助成　対象設備等（太陽光発電システム、エコキュート、長期優良住宅 等）※その他、詳しくは窓口までお問い合わせ下さい。

詳しくは各支所・支店または融資課まで　0120-954-093